

続・ふるさと

延生のお地藏さんから移った地藏菩薩像①

第16回

延生のお地藏さんから

移った地藏菩薩像①

千葉県香取郡東庄町羽計・真言宗智山派吉祥院所蔵「木像地藏菩薩立像」(延命地藏大菩薩像)の胎内に、

『考靈五年子二月吉日建延命地藏大菩薩
子安産守護
慈学大師開眼
下野国 木食
延生山移』

との墨書がある。

延命地藏菩薩のある吉祥院は、千葉県東端で犬吠崎のある銚子市の北に東庄町は位置する。町の東を板東太郎で有名な利根川が流れ、国道356号線が南下し、川を挟んだ対岸は茨城県最南端の波崎町である。



吉祥院本堂



吉祥院付近

吉祥院は古い寺で、現在は無住で地元の世話人さんを中心にして維持管理され、境内はきれいに清掃されており、特にトイレの清掃が行き届いているのに驚いた。寺のある地名「羽計」が読めない。『羽』は、

計「ばかり」と読むんだそうである。どのような経路で「延生山城興寺」から東庄町羽計の吉祥院へ移ったかは記録がないので不明である。墨書のとおり延生山から移ったことは事実である。

編集後記

□ 毎年梅雨時は湿度が上がリ、うっとうしい季節ですが大切な水をいただく時期でもあります。暮らしの便利さと自然の恵みは、遙かな昔から相容れないものだど無理やり納得しています。

□ 写真や文をいただくために取材に行きます。広報誌は紙媒体なので、一連の動きの中から瞬間を切り取って紙面に固定します。読んでいただく方々は紙面を見て正しい想像をしてくれるだろうかと願いながら構成を作ります。

□ 取材対象によってはどの家にも置いてあるテレビに直接情報をお送りすることができたらより良い伝え方ができると思うことがあります。

(まじゅ)



(頭胴長さ45~60cm, 尾長さ10cm)

日本に生息するサルは、世界の中でも最北限で生活するもので、森林帯にボスザルを中心にして数十頭の群れを形成して生息しているが、群れの縄張り意識が強い。

餌は草木の葉や実、キノコや昆虫類まで食べるが、観光地のサルは人間によって餌付けされて最近では人里に出没し人家に進入して被害を受けるケースがある。

古来は日光連山や那須の山岳帯だけでしか見ることが出来なかったが、近年に本町でも数回の観察例がある。

これは、ボスザル(尾が立っている)に敗れて群れから追放された若いオスザルとの説から、体力が向上して、放浪癖がついた個体で、生息地範囲より外部に進出したものであるという見方が最近の研究報告からは強くなっている。

■ 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
■ 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
■ 芳賀町ホームページアドレス <http://www.town.haga.tochigi.jp>
■ 苦情専用フリーダイヤル ☎0120(753)898

